

実施報告書

「好事例にみる指定管理者の効果的な提案戦略 2018」 ～組織の持続的成長に向けて～

- 1 日程 平成30年2月13日(火)・14日(水)
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 3 主催等
 - (1) 主催 日本公共スポーツ施策推進協議会
(事務局：(公財)世田谷区スポーツ振興財団)
 - (2) 共催 (一財)さっぽろ健康スポーツ財団、(公財)横浜市体育協会、
(公財)新潟市開発公社、(公財)名古屋市教育スポーツ協会、
(特非)四日市市体育協会、(公財)滋賀県体育協会、
(一財)熊本市社会教育振興事業団
 - (3) 後援 スポーツ庁、(公財)日本体育施設協会
 - (4) 協賛 コカ・コーラ ボトラーズジャパン (株)
- 4 対象者 公共スポーツ施設を指定管理者として管理運営している全国の自治体外郭団体所属職員
- 5 内容

【全国の自治体外郭団体61団体145名が受講】

平成30年2月13日(火)・14日(水)、講習会『「好事例にみる指定管理者の効果的な提案戦略 2018」～組織の持続的成長に向けて～』を国立オリンピック記念青少年総合センターで開催した。

本講習会は、日本公共スポーツ施策推進協議会が主催し、全国の公共スポーツ施設を指定管理者として管理・運営している自治体外郭団体の「61団体145名」が受講した。

全国の外郭団体が培った運営ノウハウを共有し、指定管理者としての持続的な成長を目的に開催し、当日は、ご後援のスポーツ庁 参事官 仙台光仁氏、並びに(公財)日本体育施設協会 専務理事兼事務局長 堀部定男氏によるご挨拶ののち、講習会がスタートした。



陸上400m日本記録保持者
高野進氏による基調講演の様子

【日本記録保持者による基調講演、スポーツの成長産業化、JPPC 公認事業】

本講習会は、陸上400m日本記録保持者で東海大学教授の高野進氏による基調講演「東京2020大会に向けた地域スポーツの役割」にはじまり、スポーツ庁 参事官(民間スポーツ担当) 付 参事官補佐 悴田康征氏による「スポーツの成長産業化」の講演やセントラルスポーツ(株) 安藤学氏による「指定管理者への参入視点と今後の課題」、さらに、(公財)日本体育施設協会 講習会講師 坂田公一氏による「まだ間に合う次世代へ伝承すべき最新提案書づくり」をテーマとした講演が行われた。

また、本協議会の公認事業である「ボトムアップ提案事業～JPPC アワード～」も行われた。この事業は、全国の公共スポーツ施設の管理運営における改善取り組み事例や、今後全国で推進していくべき提案などを、全国の外郭団体で共有することにより、サービスの質の向上や均一化を図ることを目的として行われ、提案項目を3部門(事業改善部門、利用促進部門、original部門)に分けて全国の外郭団体から募集を行った。

当日は、15団体31提案の中から一次審査でノミネートされた9団体により、各部門のプレゼンテーションが行われ、最終審査として受講の皆様の投票により、最優秀賞の決定と表彰がなされた。

本協議会では、今後も、様々なテーマで講習会等を開催し、全国の外郭団体と情報共有を重ね、各団体の持続的な成長とクオリティの高い組織体制・施設管理体制の構築、さらには、各団体が指定管理者として選定されるよう、スケールメリットを活かした事業展開を行っていききたい。



ボトムアップ提案事業
表彰式の様子